

砺波市における乳幼児保健指導

尾山京三 富山県厚生部
中田慶子 富山県福野保健所
柳原和夫 砺波市保健衛生課
高野陽 国立公衆衛生院

《はじめに》

砺波市では昭和55年度から3カ年にわたり厚生省心身障害研究の「地域母子保健管理における妊婦健診情報の活用に関する研究」を行ってきた。

現在、妊婦の健康管理面では健診をはじめとする各情報活用のシステム化を行い保健サービスの充実を図っている。

今回、妊娠中から分娩・新生児・乳幼児期にいたる母子一貫した健康管理を目的としてこれまで現状の把握が充分でなかった新生児期における訪問指導状況について検討を行った。

《対象地域の概要》

対象地域は富山県の西南部に位置し、輸出用のチューリップ球根の栽培が盛んな農村地帯で、集落は典型的な散居村である。

昭和57年の人口は3万6千人で1世帯当たり平均4.3人である。

主なる母子衛生指標をみると、昭和57年の出生率12.8，乳児死亡率11.1，新生児死亡率6.7である。

当市は保健婦が7名、母子保健推進員は8名で推進員すべてが助産婦等の有資格者であるという特色があり、保健所の委嘱助産婦を兼ねている。

《結果》

昭和57年度妊娠届出者468名中、流死産・転出等を除いて出生した449名について新生児訪問指導状況について調査した。

出生連絡票の受理状況では、出生数449名中293名、65.3%の受理率である。

出生から受理までの期間別にみると、10日未満の受理率は66%であり、また、出生順位別にみると第1子55%、第2子以上70.9%と第2子以上の方が高い受理率である。

訪問指導件数は244件で出生数449名に対して54.3%の実施率であり、2回以上の訪問は244件中157件64.3%である。

訪問は出生連絡票の提出者を優先しており、訪問件数244件のうち231件、94.7%までが出生連絡票によるものである。その他未提出者についても医師連絡等により情報を得たハイリスク新生児

を訪問している。

出生順位別では、第1子の出生160名のうち48.8%、第2子以上の出生289名のうち60.2%と第2子以上の訪問率が高い。

また担当者別では244件中218件、89.3%を委嘱助産婦が行い、低体重児およびハイリスク新生児11件は保健所保健婦が担当、その他15件は住居が山間地のため市保健婦が訪問している。

担当者別に訪問時期をみると助産婦による第1回訪問は生後15～19日、42.7%とピークを示し、第2回目訪問は25～28日に61.3%と多い。

保健婦による訪問では、低体重児の場合は入院期間が長いと訪問時期は25日以降に行われている。

訪問指導内容を延べみると栄養面の指導が最も多く次いで疾病予防、衣類・寝具、環境・清潔についての指導がなされている。

項目別では第1回目訪問時には水分補給、母乳のすすめが多く、第2回目訪問では腹臥位のすすめや日光浴・外気浴のすすめ等、今後の発達を予測した指導がなされている。

また訪問時の観察内容は訪問記録用紙に印刷してある項目、例えば体重測定、運動、皮膚の色等についてはすべて観察されている。

《まとめ》

新生児期における訪問指導状況について検討した結果、①新生児訪問は出生連絡票の提出者を優先しているため、34.7%の未提出者もあわせて、果して訪問指導を必要としている対象に行なわれているかどうか問題がある。②新生児訪問の約90%は委嘱助産婦が実施しているが、助産婦の高齢化に伴い訪問時の情報把握や指導内容についての検討が必要である。③訪問指導結果が情報内容として、十分生かされていないなどの問題が認められた。

今後、訪問対象の選定方法・役割分担、情報活用のための訪問指導票の改善や指導内容の評価などについて検討し、母子保健における新生児訪問指導の位置づけを明確にするよう努力してまいりたい。

新生児保健指導状況

1. 出生連絡票受理状況

(1) 受理状況

出生数	受理数	受理率
449	293	65.3%

出生連絡票は全出生数の65.3%を、受理している。

(2) 日齢別受理状況

日齢 区分	～5	6～9	10～14	15～19	20～24	25～28	29～31	計
	数	54	138	67	19	11	3	1
率	18.4	47.1	22.9	6.5	3.8	1.0	0.3	100

出生後10日未満に66%の連絡票を受理している。

(3) 出生順位別受理状況

区分 数率	第1子	第2子 以上	計
	出生数	160	289
受理数	88	205	293
率	55.0	70.9	66.3

出生順位別に出生連絡票の受理状況をみると、第2子以上の方が70.9%と多く受理している。

2. 新生児訪問指導状況

(1) 訪問指導実施件数

出生数(人)	449	訪問数	244 (100.0%)
訪問数(人)	244(401)	1回	87 (35.7%)
率(%)	54.3	2回以上	157 (64.3%)

()は延訪問数

(2) 訪問指導実施状況

区分 数率	出生連絡票	医師連絡・その他	計
	数	231	13
率	94.7	5.3	100

訪問指導は出生連絡票の提出者を優先して実施している。実施件数の94.7%までが出生連絡票による訪問であるが、その他5.3%は医師連絡等により情報を得たハイリスク新生児を訪問している。

(3) 出生順位別訪問実施状況

区分 数率	第1子	第2子 以上	計
	出生数	160	289
訪問数	70	174	244
率	43.8	60.2	100

第2子以上の方が多く訪問されている。

(4) 担当者別実施状況

出生数	助産婦	保健所 保健婦	市保健婦	計
449	218	11	15	244
率	89.3	4.5	6.2	100

低体重およびハイリスク新生児は保健所保健婦が担当し、市保健婦は砺波市の山間地を訪問している。

(5) 実施者別訪問状況

ア 助産婦 (訪問日齢別実施状況)

数率	日齢	6～9	10～14	15～19	20～24	25～28	29～31	計
		一 回目	数	14	72	93	21	17
	率	6.4	33.0	42.7	9.6	7.8	0.5	100
二 回目	数	—	—	10	43	92	5	150
	率	—	—	6.7	28.7	61.3	3.3	100

第一回目訪問は生後15～19日がピークであり、第二回目訪問は25～28日が多い。

イ 保健婦 (出生体重別・日齢別実施状況)

体重	日齢	10～14	15～19	20～24	25～28	29～31	32～45	46～59	60～
		～1999						1	2
2000～2499				1		3		1	
2500～		2	4	1 (1)	6	1	4	(1)	
計		2	4	1 (1)	7	1	8	2 (3)	1 (3)

()は第2回以降訪問

低体重児は、入院期間が長いので訪問時期は25日以降に行われている。

3. 訪問実施内容

(1) 指導内容

区分	栄養					疾病予防										環境・清潔				衣類・寝具																	
	水分補給	母乳のすすめ	調乳指導	ミルクのすすめ	母乳のさせ方	母乳貯蔵後の扱い	母乳不足の見分け	※果汁・ストイブの方	肥満予防	小計	オムツかぶれ	疥癬処理	あせも・湿疹予防	医療受診のすすめ	頭部変形予防	脂漏の手当	頭血腫について	口内清潔について	便通のため	母乳をひかえめに	眼脂の除去	かぜの予防	斜頸について	虫さされ	小計	温度・湿度	沐浴指導	換気	寝具の日光消毒	小計	厚着に注意	おひつのあて方	寝具について	枕について	ベットのすすめ	肌着の交換	※衣類の選択
一回目	198	80	40	16	9	5	3	—	351	49	29	22	10	8	4	3	3	2	1	2	1	—	—	134	63	34	25	3	125	37	29	20	18	17	8	1	130
二回目	564	228	115	46	26	14	07	—	1003	366	216	164	75	61	30	22	22	15	07	15	07	—	—	1005	504	272	200	24	100	285	223	154	138	131	62	07	100
一回目	78	19	5	9	5	1	1	6	1125	16	3	14	11	2	—	—	—	2	—	1	3	1	1	54	20	5	3	3	31	13	1	1	—	—	1	1	17
二回目	624	152	40	72	40	08	08	48	08100	296	55	259	204	37	—	—	—	37	—	19	55	19	19	100	645	161	97	97	100	784	59	59	—	—	59	59	100

区分	発達				その他							合計		
	※腹臥位のすすめ	※日光浴・外気浴	母子相互作用	抱き	生活習慣の指導	小計	※定期健診のすすめ	育児用品について	母乳の搾りについて	吐乳・溢乳について	家族計画について		家かせ方	鼻づまり
一回目	40	27	10	5	—	82	4	3	3	2	1	1	—	14836
二回目	489	330	122	59	—	1002	86	214	214	144	71	71	—	100
一回目	110	96	6	—	12	13	4	—	—	1	1	—	1	7447
二回目	516	451	28	—	05	1005	71	—	—	143	143	—	143	100

※は、現状における指導ではなく今後の発達を予測した指導である。

訪問指導内容を延数でみると、第一回目訪問において最も多く指導されているのは水分補給のすすめで、ついで母乳のすすめ、温度・湿度についての指導が行なわれている。二回目訪問では腹臥位のすすめが多く、ついで日光浴・外気浴の指導が行なわれている。

(2) 観察内容

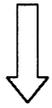
(3) 確認事項

区分	一般状態		消化器系		○嘔乳力	○授乳方法	○環	体重一日増加量	開排便制限	臍について	姿勢反射	口内	乳房	体重増加が悪い	母乳を哺乳している	吐乳予防のため	母・風邪のため	マスクをして	一般状態	小計	先天性代謝異常検査	母・Hbs (+)
	○体重測定	○運動	○皮膚の色	○嘔吐																		
一回目	244	244	244	244	244	244	244	78	46	45	8	2	2	1	1	1	1	1	2	2139	27	1
二回目	114	114	114	114	114	114	114	36	22	21	04	01	01	005	005	005	005	005	01	100	—	—
一回目	157	157	157	157	157	157	157	60	29	18	2	—	—	—	1	—	—	—	1	1367	28	—
二回目	115	115	115	115	115	115	115	44	21	13	01	—	—	—	005	—	—	—	005	100	—	—

○は訪問記録用紙に印刷済みの項目であり、すべて観察されている。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



《はじめに》

砺波市では昭和 55 年度から 3 ヶ年にわたり厚生省心身障害研究の「地域母子保健管理における妊婦健診情報の活用に関する研究」を行ってきた。

現在、妊婦の健康管理面では健診をはじめとする各情報活用のシステム化を行い保健サービスの充実を図っている。

今回、妊娠中から分娩・新生児・乳幼児期にいたる母子一貫した健康管理を目的としてこれまで現状の把握が充分でなかった新生児期における訪問指導状況について検討を行った。